

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ



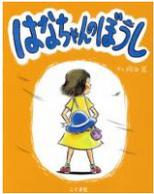
★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『はなちゃんのぼうし』(えほん)

丹治匠/作 こぐま社



はなちゃんのだいすきな、そらいろのぼうしが、とばされちゃった。どんどんそらをとんで、おちたところは？

『ひかりうりのぴかこさん』(えほん)

松山円香/著 佼成出版社



ちょうちんあんこうのぴかこさんには、ひみつのしごとがありました。つきのでないよる、うみのそとにでていくのです。

『あした あさって しあさって』★

もりやまみやこ/作 はたこうしろう/絵 小峰書店

おとうさんが、「しあさって」かえってくる。あさってのつぎの日らしい。いったい、いつなんだろう。



『先生、しゅくだいわすれました』★★

山本悦子/作 佐藤真紀子/絵 童心社

うまくうそをついたら、しゅくだいをわすれてもいいと、先生が言った。でも、うそを考えるのは、とってもたいへんだった！



『里見家の宝をさがせ！』★★★

小森香折/作 染谷みのる/絵 偕成社



「八犬伝」で有名な、里見家の家宝が、かくされているかも。杏珠は、引っ越してきた古いお屋敷を調べてみることにしました。

『タヌキ 北国からの動物記』(ちしきの本)

竹田津実/文・写真 アリス館



タヌキの「ため糞」って何？自分の気持ちを伝えようと、同じ場所にウンチをすること。他には、どんなひみつがあるのかな。



あたらしく はいった本

『ひみつのかんかん』(えほん)

花山かずみ/作・絵 偕成社



はるちゃんは、ひいばあちゃんのとからものをみせてもらいます。かんかんをあけるとひみつがいっぱい。

『ふしぎなよるのおんがくかい』★

垣内磯子/作 小林ゆき子/画 小峰書店

リードさんのしきで、虫たちは、なきはじめました。そのこえに、うっとりしたねこたちも、おんがくかいをやりたくなります。



『まほろ姫とブッキラ山の大てんぐ』★★★

ながわちひろ/作 偕成社



まほろ姫は、じゅもんをとえれば、思ったものに化けられます。タヌキの茶々丸と、ブッキラ山にでかけますが、そこにいたのは？

『声の出ないぼくとマリさんの一週間』

★★★★ 松本聰美/作 渡邊智子/絵 汐文社

友だちの悪口がきっかけで、声が出なくなってしまった真一。そんなとき、ママの親友のマリさんとくらすことになります。



『ほんをひらいて』(えほん)

トニ・モリスン/文 さくまゆみこ/訳 ほるぷ出版

としょかんにくれば、ひとりぼっちじゃない。ほんが、たのしいことをいっばいつめこんで、みんなをまっているからです。



『こぶたのぶーぷ』★

西内ミナミ/作・真島節子/絵 福音館書店



「とればとるほど、ふえるもの、なあに？」こぶたのぶーぷは、のねずみのチッチぼうやに、なぞなぞをだしました。

『犬をかうまえに』★★★

赤羽じゅんこ/作 つがねちかこ/絵 文研出版

犬をかいきたい空斗は、「犬の散歩ボランティア」を始めます。遊びに行きたい時でも行けないの？思っていたよりずっと大変でした。



『おしゃれ教室』★★★★

アン・ファイン/作 灰島かり/訳 評論社



ボニーは、突然「おしゃれ教室」に参加することに。おしゃれなんかちっとも興味がないので逃げ出したくなりますが…。

『よみがえる二百年前のピアノ』(ちしきの本)

佐和みずえ/作 くもん出版

ぼろぼろの二百年前のピアノ。元にもどすには、「ピアノ修復家」の力が必要です。その仕事ぶりをのぞいてみましょう。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273